



こんにちは、都田公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。
長らく発行が止まってしまいましたが、今回から諸般の事情で当初予定していた「マルシェ通信」ではなく、資源の少ない都田公園で挑戦してみたイベントや取組を紹介する「トライ雑録通信」として発行を続けていこうと思います。今回は今年行った自然関係の取組をご紹介します！

野鳥の巣箱設置

公園には何本か高木が植栽されていますが、今年の冬の終わりに2箇所小鳥用の巣箱を作って取り付けました。内1か所にはシジュウカラが出入りしている様子があったので、もしかしたら子育てに使ってくれたのかもしれません。

子育ての時期が過ぎたら外して中を確認してみようと思います！
巣箱に興味がある方は、レストハウス前の木の上にもついていますので、探してみてください。



プランタービオトープ



都田公園は施設が面積の大部分を占め、昆虫の住処となるような樹林や草地の茂みがありません。そこで、小さなビオトープを設置して、人工的に生き物の住処を作る試みを始めました。

トンボなど自然に集まってきた生き物が生活する場とするため、最初は一部の植物以外は入れずに管理をスタートさせました。

ご自宅で飼われている生き物などは入れずに見守っていただければと思います。

自然観察会

5月に散策をしながら春～初夏に見られる植物の観察を行う自然観察会を開催しました。

残念ながら都田公園には樹林などがいないため、見れる種類もそこまで多くありません…ですが、近隣の市民の森などでは様々な種類の植物が見られるため、そちらにも足を運び、様々な種類の植物を観察することができました。

秋にも観察会を行いますので、興味はあるけど植物の見分け方がわからない…や、市民の森に行ってみたい！という方は秋の自然観察会へのご参加お待ちしております！

